

資料 4

町民意見交換会の結果について

第8回 七飯町地域公共交通活性化協議会 資料
令和4年 8月17日

■開催目的

令和3年度に実施した各種調査結果及び七飯町地域公共交通の現況・問題点・課題を共有するとともに、七飯町地域公共交通活性化協議会で検討した「七飯町地域公共交通計画素案」の報告を実施し、普段の移動状況の実態や、七飯町民として実施してほしい地域公共交通施策などの意見をいただくことを目的に、町内4地区で実施しました。

■当日概要

開催地区	開催日時		参加者
本町地区	令和4年7月4日（月）	17:00	27名
大川・大中山地区	令和4年7月5日（火）	10:00	17名
藤城・峠下地区	令和4年7月5日（火）	14:00	19名
大沼地区	令和4年7月4日（月）	14:00	20名

■町民意見交換会 議事

- ① 買い物や通院などの日頃の生活移動について
- ② 日頃の公共交通の利用状況について
- ③ お住まいの地区に望ましい公共交通のあり方について

■開催日時・場所

- ・令和4年7月4日（月）17：00から
- ・七飯町文化センター スペース201
- ・参加者：27名

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・買い物や通院は本町地区の施設で完結することが多い。
- ・免許を返納しており、無積雪期は良いが、冬場の移動が大変。



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・本町地区では、団地に住んでいる方は困っている人が多い印象。

■本町地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・巡回バスの運行が望ましい。
- ・坂が多いため、自宅からバス停まで行ける交通手段が必要。

■その他

- ・施策にも位置付けられているとおり、今回のような町民が集まる機会は、定期的を実施していただきたい。
- ・意見交換会に来られない方の意見も拾えるような工夫が必要。

■開催日時・場所

- ・令和4年7月5日（火）10:00から
- ・大中山コモン 農事大会議室
- ・参加者：17名

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・老人クラブの活動なども実施している大中山コモンに来るための手段が不足している。
- ・アップル温泉まで行きたいが、自動車以外では、移動が難しい。



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・タクシーを利用することはあるが、運賃が高く、タクシー会社が発行している割引券は、とても助かっている一方で、タクシーを往復で利用することが難しい世帯もあり、配慮が必要。また、家族送迎が見込めない独居世帯への配慮も必要。

■大川・大中山地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・現状よりは七飯町の地域公共交通が良くなる印象を受けたので、各施策について、ぜひ実現していただきたい。

■その他

- ・施策にも位置付けられているとおり、今回のような町民が集まる機会を、定期的を実施するとともに、既存の集まりで話を聞くなど、より広く意見を拾えるようにしていただきたい。
- ・施設利用者の増加に貢献する可能性もあるため、町民の行き先となっている施設から、協賛金をいただくことも有効。

■開催日時・場所

- ・令和4年7月5日（火）14：00から
- ・上藤城会館 集会室
- ・参加者：19名

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・町内会で、社会福祉協議会の車両を活用した買い物ボランティアを実施しており、買い物先は本町地区である。
- ・足腰が悪い方は、福祉有償運送などで移動している。

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・車がない人は、休みながら自宅とバス停間を移動している。
- ・青葉台団地は公共交通で移動するには、非常に大変な地域。

■藤城・峠下地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・タクシー助成券の割引額は移動頻度なども想定し、極力、自己負担が軽減されるような仕組みが望ましい。

■その他

- ・観光客が利用できるような公共交通があると良い。
- ・実証運行などについては、早めの実施、見直しを密に実施いただきたい。



■開催日時・場所

- ・令和4年7月4日（月）14：00から
- ・大沼多目的会館 第1研修室
- ・参加者：20名

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・買い物、通院などは本町地区が主な行き先。
- ・週2回の沼っ子お出かけ号を活用している人もいる。
- ・大沼地区では、日常生活の買い物先としてセブンイレブンくらいしかない。



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・タクシーで移動せざるを得ないときはあるが負担は大きい。

■大沼地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・軍川地域から、大沼駅や峠下周辺まで行くことができると、ありがたい
- ・路線バスで移動するには、往復運賃が高く、負担軽減はぜひ考えてほしい。
- ・「沼っ子お出かけ号」を基本にしながら、実証運行・本格運行などの実施が望ましい。

■その他

- ・施策にも位置付けられているとおり、今回のような町民が集まる機会は、定期的を実施していただきたい。
- ・大沼地区は、公共交通に合わせて移動することが想定されるため、まずは実証運行などを始めてみるのが重要。